

マスタープラン策定に向けた現地調査

分野	現地調査内容
営農	対象 19 郡の SDAE にて、各郡の農業生産の概要の聞き取りを行った。その後、普及員に紹介を受けた農家を対象に、営農状況を把握するための聞き取り調査を行った。項目は、家族構成、農業労働力、栽培している作物、各作物の栽培面積・収穫量・販売実績、作物栽培カレンダー、土地利用の状況（移動耕作状況）、土地権利問題の有無と解決方法、農具・種子・肥料等投入財使用の有無などとした。
普及	対象 19 郡の SDAE にて、各郡の普及体制、活動の概要の聞き取りを行った。その後、営農の農家ヒアリングの際に、農家が受けた普及活動などを確認した。
農業金融	農業アソシエーションや中小農産加工業向けの融資を行っている民間銀行やマイクロファイナンス機関（GAPI、Banco Tera, Standard Bank, Banco Oportunidade de Mozambique, ナカラ回廊内の地元マイクロクレジット機関等）への聞き取り調査を行い、農業向け融資の貸出条件や課題、今後の事業展開等について情報を収集した。また、CEPAGRI へのヒアリングを通じて、政府が援助機関（AGRA, USIAD 等）や民間銀行と連携して実施した農業融資スキームについて、その成果や課題等について調査を行うとともに、FDA や FDD といった政府主導の融資スキームの運用状況等について確認を行った。加え、ベイラ回廊において運用されている民間農業・農産加工事業者向け融資制度“Catalytic Fund”に関して、その運営機関である、Beira Agriculture Growth Corridor Secretariat、AgDevCo 社へのヒアリングと融資先企業への聞き取り調査を行い、同融資制度の詳細について情報収集を行った。
農民組織	農民組織のインベントリー調査に加え、3 州の DPA および対象 19 郡の SDAE で、公的農業普及部門が対象とする農民組織の基礎情報を収集し、支援内容や課題を聞き取った。その後、普及員に紹介を受けた組合員に、組織概要や活動内容および課題を聴取した。また、栽培や収穫後処理の協働状況を視察するとともに、保有する施設や資器材の状況を確認した。
灌漑	MINAG 農業サービス局（現 INIR）にてモ国における灌漑政策及び開発計画の概要を確認した。また対象 3 州の DPA から入手した灌漑インベントリーリスト等を使用して、対象 19 郡の SDAE にて各郡の灌漑農業の概況の聞き取りを行った。この後、各郡で灌漑を実施している個人農家、農業アソシエーション、コミュニティでの現地踏査及び聞き取り調査を行い、灌漑農業の実態、灌漑施設の利用状況及び維持管理水準、農家の灌漑開発に対する要望等の調査を行った。また、DNA 及び ARA-CN にて水文データの入手と水資源の管理及び開発に関する政策、制度、計画の確認を行った。
農産物加工・流通	対象 19 郡の SDAE の紹介で、各郡の農産加工場、関連企業などを訪問し、活動や流通状況などの聞き取りを行った。また、ナンプラ周辺での流通業者、個人農家などの聞き取り調査を行った。
社会インフラ	各郡の道路整備状況などの聞き取り調査を行った。道路や鉄道、港湾などの管理会社などでの聞き取り調査を行った。
農業投資	CPI、CEPAGRI、IPEX、マロンダ財団といった投資促進を行う機関へヒアリングを行い、モザンビーク北部地域における農業投資の傾向、農業セクターに対する投資優遇措置、農業投資に係る事業申請・承認プロセス、投資阻害要因等について情報収集を行った。また、CPI、CEPAGRI より、過去 5 年間の国内農業投資事業に関するデータを収集し、ナカラ回廊エリアにおける農業投資状況の分析や課題の抽出を行った。加え、ナカラ回廊、ベイラ回廊、マプト近郊で農業・農産加工業を営む企業 20 社に対するインタビューを実施し、モザンビークにおける農業投資・アグリビジネスの課題や将来的な可能性等について意見収集を行った。特に、地元農家や農業アソシエーション

	との契約栽培事業を実施している企業、及び契約栽培事業を支援する援助機関・NGO 等に対して聞き取り調査を行い、栽培農家との契約内容やビジネスモデル、課題等に係る分析を行った。
RAI(責任ある農業投資)	モザンビーク国の法制（保護区、土地利用計画、文化財、森林、土地、EIA、非自発的住民移転、財産喪失補償、水、農業関連の環境リスク、産業活動、労働、利益分配、監査、罰則）ならびに国際場裏における RAI 関連の議論・類似先行ガイドラインの分析を行うとともに、投資事業の審査・監督を担当する官庁に対して実態、課題、要改善点の聞き取り調査を行った。
環境社会配慮	文献調査は、ナカラ回廊における農林系事業の EIA（環境影響評価）報告書実例の分析を中心とし、他ドナーや他セクターの EIA・SEA（戦略的環境アセスメント）・住民移転計画書なども合わせて調査した。また、レッドリスト等のデータベース検索から、貴重種の情報を入手・整理した。また、MICOA ならびに各州政府の環境局、農業局の森林・野生動物部、文化局等を訪問し、自然環境保全、環境管理、土地利用秩序化計画、EIA、環境監査、鳥獣害管理、森林の持続的管理、文化財保護等に係る施策の実態、課題、見通しを聞き取った。また、モ国で EIA を実施する、MICOA に登録された有資格コンサルタント企業や、環境ガバナンスの分野で発言力を有する NGO へのインタビューを通じ、環境社会配慮の法制と実態の乖離、問題の所在、改善のための政策提言等について聞き取り調査を行った。